

令和 6 年度 寒川町ヤングケアラー実態調査報告書

令和 7 年 5 月

寒川町 子ども育成部 子育て支援課

1. 調査の目的

- ①寒川町の「ヤングケアラー」と思われる子どもたちの状況を把握し、早期発見、早期対応できる仕組みづくりの検討を行っていくための資料とすること。
- ②実態調査をすることで児童生徒へのヤングケアラーについての理解を促すこと。
- ③児童生徒にヤングケアラーの相談先を周知すること。

2. 調査対象

町立小中学校に通う小学4年生～中学3年生の児童生徒

3. 調査方法

小学生：学級活動の時間を利用した紙によるアンケート調査

中学生：タブレットによるアンケート調査

当日欠席者等の調査実施については、児童生徒の状況に応じて学校で判断する。

4. 調査時期

令和6年11月

5. 調査状況

小学生

在籍児童数	調査実施児童数	調査未実施児童数	調査回答率
1,290 人	1,194 人	96 人	92.6%

中学生

在籍生徒数	調査実施生徒数	調査未実施生徒数	調査回答率
1,277 人	1,099 人	178 人	86.1%

小学生、中学生ともに、在籍者数は、令和6年11月1日現在（特別支援含む）

6. 主要な調査項目

小学生：1. 基本情報

- ・学年

2. 普段の生活

- ・学校を休んだり、遅刻や早退をする頻度
- ・「ヤングケアラー」という言葉の認知度

3. あなたの「家庭」や「家族」について

- ・お世話をしている家族がいるか
- ・家族のお世話をしていて、まわりの大人に助けてほしいことの有無
- ・相談できる人の有無
- ・相談したことの有無と誰に相談したことがあるか

中学生： 1. 基本情報

- ・通っている学校名と学年、クラス

2. 普段の生活

- ・学校を休んだり、遅刻や早退をする頻度
- ・普段の生活であてはまること
- ・悩みや困っていることについて、相談できる人がいるか
- ・「ヤングケアラー」という言葉の認知度

3. あなたの家庭や家族のお世話について

- ・したいことよりも優先してお世話をする家族がいるか
- ・お世話する家族がいる場合、どのようなお世話をしているか
- ・どのくらいの頻度で、どのくらいの時間お世話をしているか
- ・お世話をしていることで起きていること
- ・周りの大人に助けてほしいことや必要としている手助け
- ・相談できる人の有無
- ・相談したことの有無と誰に相談したか
- ・相談していない理由
- ・自由記載

集計表について

- ・人に関する項目は、その項目に回答した人数を計上
複数回答でない設問に、2 か所以上の回答があった場合は、その回答数をそれぞれの項目に計上。
- ・調査結果の％表記については、小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、内訳の合計が100％にならない場合がある。
- ・複数回答の設問については、調査に回答した実人数（以下「回答実人数」）を母数として算出するため、内訳の合計が100％を超えている。

7. 調査結果と分析

(1) 小学4年生から6年生調査結果

在籍者数（令和6年11月1日現在 特別支援含む）

4年生	5年生	6年生	計
425人	427人	438人	1,290人

1 基本(きほん)情報(じょうほう)について

問1 あなたの学校を教えてください。

4年生	5年生	6年生	計	回答率	調査未実施
394人	402人	398人	1,194人	92.6%	96人

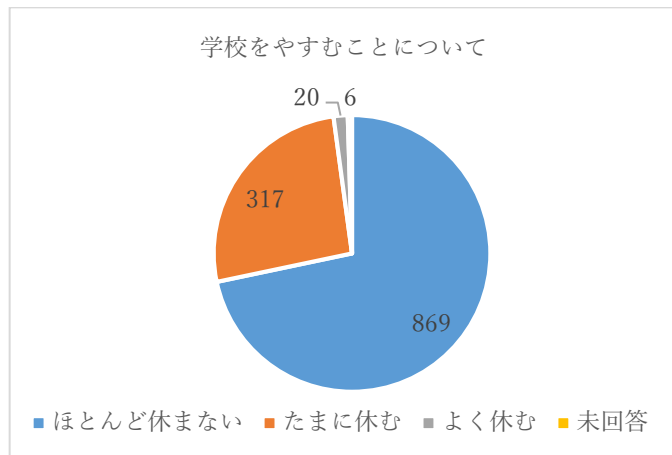
小学生はホームルームの時間で調査を行っていただいたので、回答率が92.6%と高かった。

2 ふだんの生活について

問2 あなたは学校を休んだり、学校に遅刻したり、早退したりすることがありますか。

① 学校を休むことについて

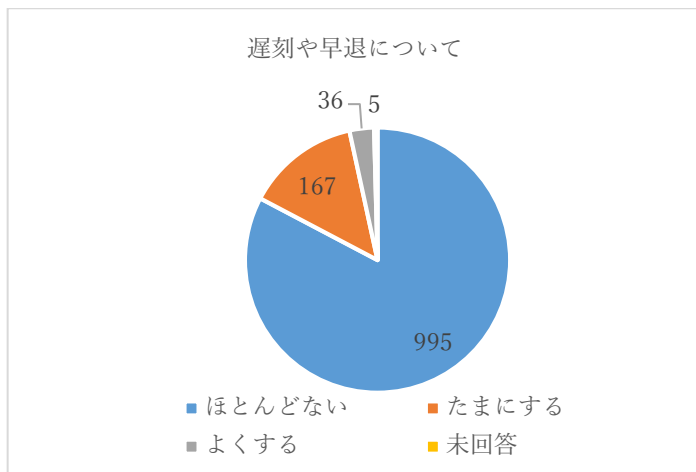
回答実人数	ほとんど休まない	たまに休む	よく休む	未回答	重複回答
1,194人	869人	317人	20人	6人	18人
101.5%	72.8%	26.5%	1.7%	0.5%	



ほとんど休まないと回答した児童が72.8%。たまに休むは26.5%、よく休むは1.7%であった。複数回答ではないが、2つ以上の項目に該当と回答した者が18人いた。

② 学校に遅刻したり、学校から早退したりすることについて

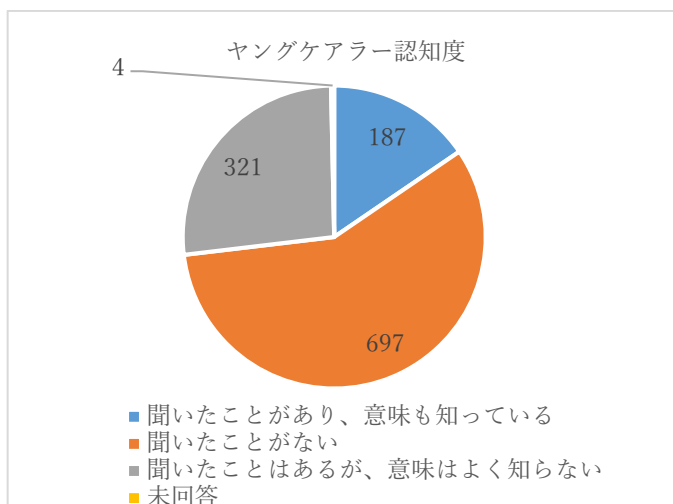
回答実人数	ほとんどない	たまにする	よくする	未回答	重複回答
1,194人	995人	167人	36人	5人	9人
100.8%	83.3%	14.0%	3.0%	0.4%	



ほとんどないと回答した児童が83.3%。たまにするは14.0%、よくするは3.0%であった。
複数回答ではないが、2つ以上の項目に該当と回答した者が9人いた。

問3 今までに「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。

回答実人数	聞いたことがあり、意味も知っている	聞いたことがない	聞いたことはあるが、意味はよく知らない	未回答	重複回答
1,194 人	187 人	697 人	321 人	4 人	15 人
101.3%	15.7%	58.4%	26.9%	0.3%	

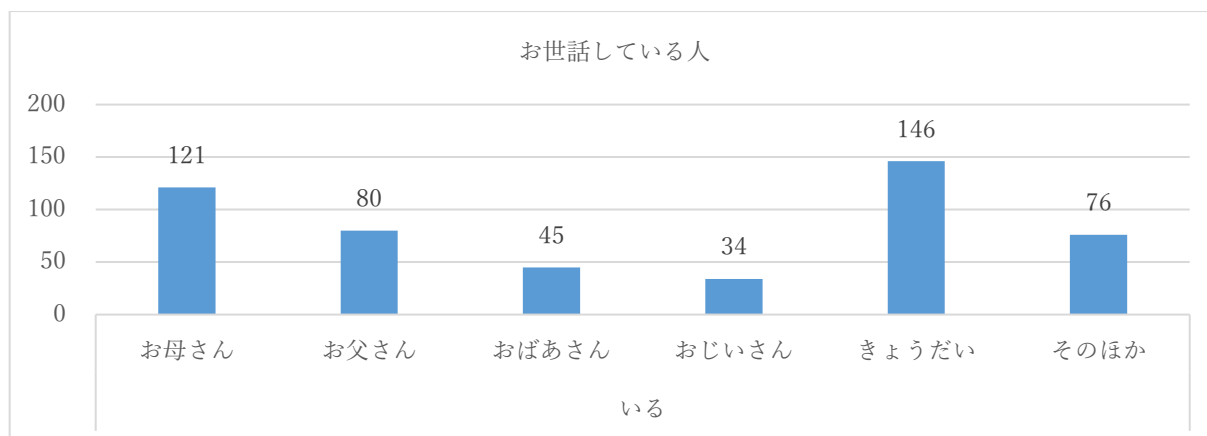


重複回答が15件あった。聞いたことがあり、意味も知っている者の割合は、15.7%
聞いたことがない、聞いたことはあるが意味はよく知らないものを合わせると、85.3%であった。
ヤングケアラーについての周知が十分でない現状であり、ヤングケアラー当事者が、自分がヤングケアラーであると感じくためにも、さらなる周知、啓蒙活動を行い、ヤングケアラーの認知度を高める必要があると考える。

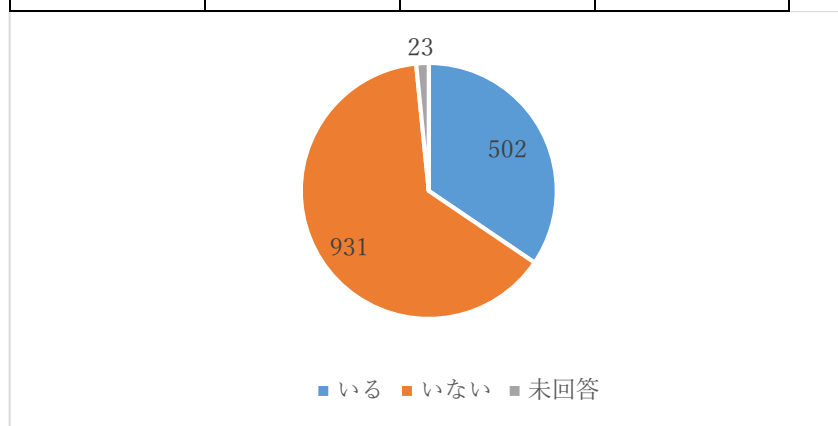
3 あなたの家庭や家族のお世話について

問4 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。お世話をしている人をすべて選んでください。
(重複回答あり)

回答実人数	いる						いない	未回答
	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	そのほか		
1,194 人	121 人	80 人	45 人	34 人	146 人	76 人	931 人	23 人
121.9%	10.1%	6.7%	3.8%	2.8%	12.2%	6.4%	78.0%	1.9%



回答実人数	いる	いない	未回答
1,194 人	502 人	931 人	23 人
121.9%	42.0%	78.0%	1.9%



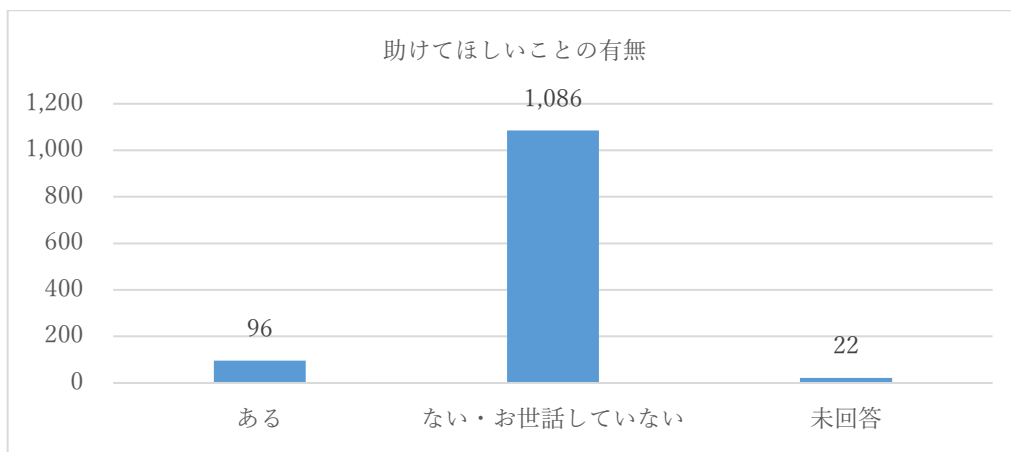
ヤングケアラーの認知度と併せて考えると、ヤングケアラーの理解が進んでいないため、お手伝いもお世話として回答している児童がいるのではないかと考えられる。

この数値からは実際のヤングケアラーの把握は難しいが、きょうだいの世話をしていると回答した児童が多かった。

今後ヤングケアラーの周知をはかり、調査の精度を上げていくことが望ましい。

問5 まわりの大人に助けてほしいことや、必要としている手助けはありますか。

回答実人数	ある	ない・お世話していない	未回答
1,194 人	96 人	1,086 人	22 人
100.8%	8.0%	91.0%	1.8%



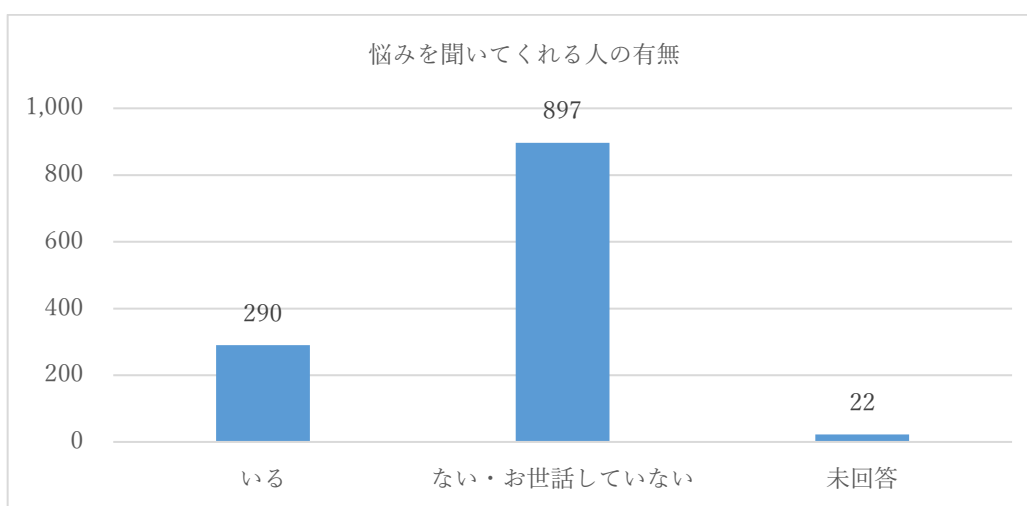
助けてほしいことがある児童は 8.0%であった。

令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」（こども家庭庁・実施は厚生労働省）では、小学6年生で家族の世話をしている者は 6.5%とされており、実態に近い数字ではないかと推察する。

回答項目を「ない・お世話していない」としてしまっていたので、ないのか、お世話していないのか精査ができず、次回調査時に設問の検討が必要と考える。

問6 家族のお世話について、あなたが話したいと思ったときに、困っていることや悩みを聞いてくれる人はいますか。

回答実人数	いる	ない・お世話していない	未回答
1,194 人	290 人	897 人	22 人
101.3%	24.3%	75.1%	1.8%

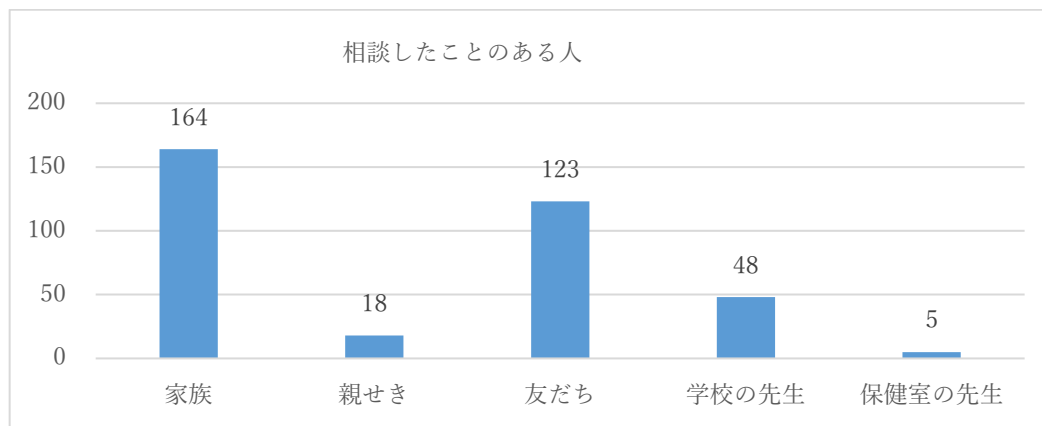


お世話について、相談する人がいると回答した児童は、24.3%であった。

回答項目を「ない・お世話していない」としてしまっていたので、悩みを聞いてくれる人がいないのか、お世話していないのか精査ができず、次回調査時に設問の検討が必要と考える。

問7 家族のお世話について、困っていることや悩みを誰かに相談したことはありますか。相談をした人をすべて選んでください。

回答実人数	家族	親せき	友だち	学校の先生	保健室の先生	ない・お世話していない	未回答
1,194 人	164 人	18 人	123 人	48 人	5 人	984 人	24 人
114.4%	13.7%	1.5%	10.3%	4.0%	0.4%	82.4%	2.0%



相談相手は、家族や友だち、学校の先生といった、会う機会の多い児童が 24.5%と多くを占めている。

回答項目を「ない・お世話していない」としてしまっていたので、悩みを聞いてくれる人がいないのか、お世話していないのか精査ができず、次回調査時に設問の検討が必要と考える。

追加分析

家族の誰かをお世話していると回答した児童と、お世話していないと回答した児童の中に2名重複回答があったが、そのままの回答数でクロス集計を行った。

問4 家族のお世話の有無と、問2 学校を休んだりすること

学校を休むこと	調査 実人数	ほとんど休 まない	たまに休む	よく休む	未回答	回答数計
お世話している	265 人	170 人	91 人	6 人	5 人	272 人
		62.5%	33.5%	2.2%	1.8%	100.0%
お世話していない	931 人	699 人	226 人	14 人	1 人	940 人
		74.4%	24.0%	1.5%	0.1%	100.0%

問4 家族のお世話の有無と、問2 学校を遅刻や早退したりすること

遅刻や早退	調査 実人数	ほとんどし ない	たまに遅 刻・欠席す る	よく遅刻・ 欠席する	未回答	回答数計
お世話している	265 人	195 人	51 人	15 人	5 人	266 人
		73.3%	19.2%	5.6%	1.9%	100.0%
お世話していない	931 人	800 人	116 人	21 人	0 人	937 人
		85.4%	12.4%	2.2%	0.0%	100.0%

問4 家族のお世話の有無と、問5 まわりの大人に助けてほしいことや、必要としている手助け

まわりの大人に助けて ほしいことなどの有無	調査 実人数	ある	ない お世話してい ない	未回答	回答数計
お世話している	265 人	84 人	180 人	7 人	271 人
		31.0%	66.4%	2.6%	100.0%
お世話していない	931 人	12 人	906 人	17 人	935 人
		1.3%	96.9%	1.8%	100.0%

問4 家族のお世話の有無と、問6 家族のお世話について悩みを聞いてくれる人の有無

悩みを聞いてくれる人 の有無	調査 実人数	いる	いない お世話してい ない	未回答	回答数計
お世話している	265 人	182 人	80 人	6 人	268 人
		67.9%	29.9%	2.2%	100.0%
お世話していない	931 人	108 人	817 人	20 人	945 人
		11.4%	86.5%	2.1%	100.0%

(2)中学生調査結果

在籍者数（令和 6 年 11 月 1 日現在 特別支援含む）

1 年生	2 年生	3 年生	7 組	計
415 人	428 人	402 人	32 人	1,277 人

1 基本(きほん)情報(じょうほう)について

問 1 あなたの学年、クラスを教えてください。

1 年生	2 年生	3 年生	学年未回答	計	回答率	調査未実施
353 人	387 人	358 人	1 人	1,099 人	86.1%	178 人

回答率は 86.1%であった。中学生は、休み時間や放課後など生徒の自由に使える時間で回答してもらったため、ホームルームでクラスごとに調査を実施した小学生よりも、回答率はやや低めとなっている。

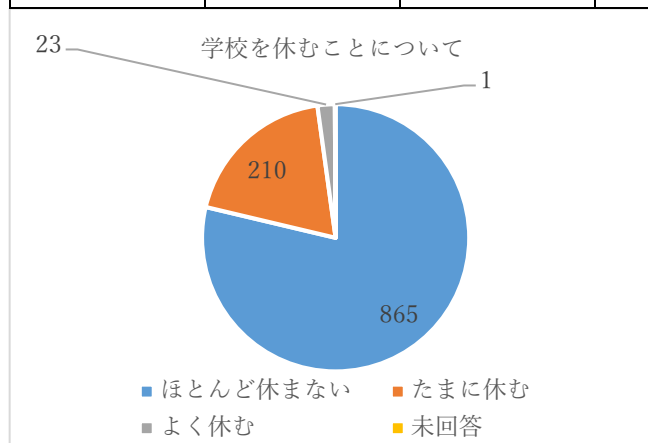
* 小学生回答率 92.6%

2 ふだんの生活について

問 2 あなたは学校を休んだり、学校に遅刻したり、早退したりすることがありますか。

① 学校を休むことについて

合計	ほとんど休まない	たまに休む	よく休む	未回答
1,099 人	865 人	210 人	23 人	1 人
100.0%	78.7%	19.1%	2.1%	0.1%

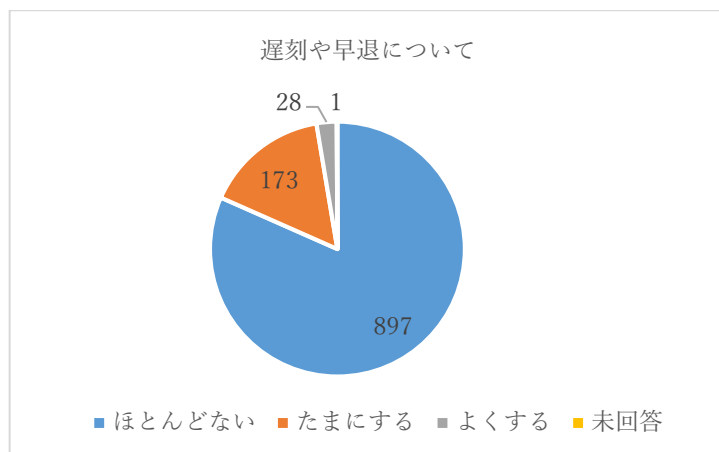


生徒の約 8 割がほとんど休まないと回答した。

たまに休む、よく休むを合わせると、約 2 割を占める結果となった。

② 学校に遅刻したり、学校から早退したりすることについて

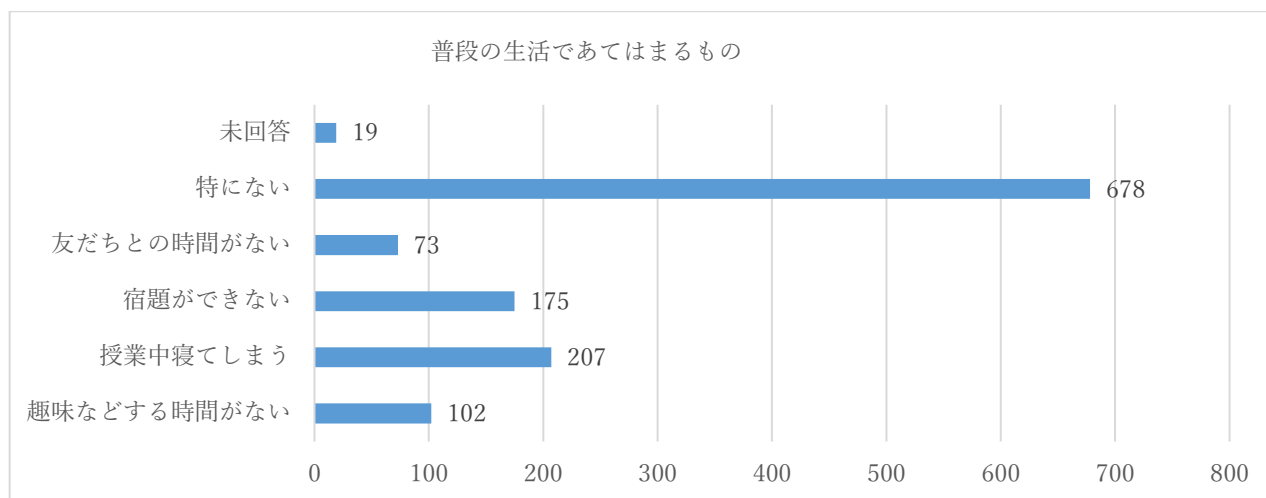
合計	ほとんどない	たまにする	よくする	未回答
1,099 人	897 人	173 人	28 人	1 人
100.0%	81.6%	15.7%	2.5%	0.1%



生徒の約 8 割がほとんど休まないと回答した。
たまにする、よくするを合わせると、2 割弱を占める結果となった。

問 3 ふだんの生活で、あてはまるものはありますか。(あてはまるもの全て選ぶ)

回答実人数	趣味などする時間がない	授業中寝てしまう	宿題ができない	友だちとの時間がない	特にない	未回答
1,099 人	102 人	207 人	175 人	73 人	678 人	19 人
114.1%	9.3%	18.8%	15.9%	6.6%	61.7%	1.7%

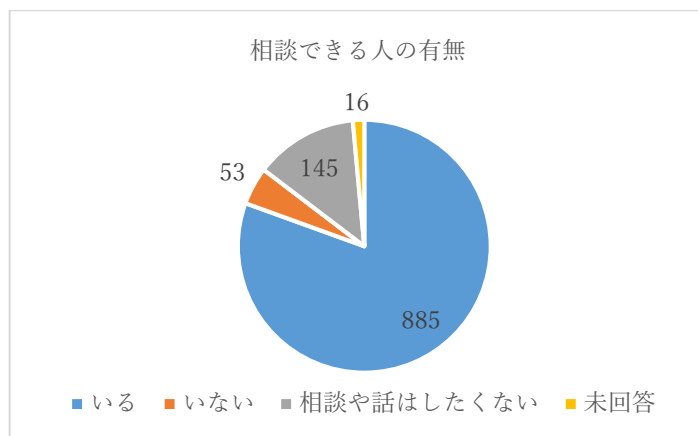


特に当てはまるものがないと回答した生徒が半数を超えるが、何らかの項目に該当するものが 557 人であった。

該当項目の 1 位は授業中に寝てしまう。18.8% 2 位は宿題ができない 15.9% 3 位は趣味をする時間がない 9.3% 友だちとの時間がない 6.6% となった。

問 4 悩みや困っていることについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

合計	いる	いない	相談や話はしたくない	未回答
1,099 人	885 人	53 人	145 人	16 人
100.0%	80.5%	4.8%	13.2%	1.5%



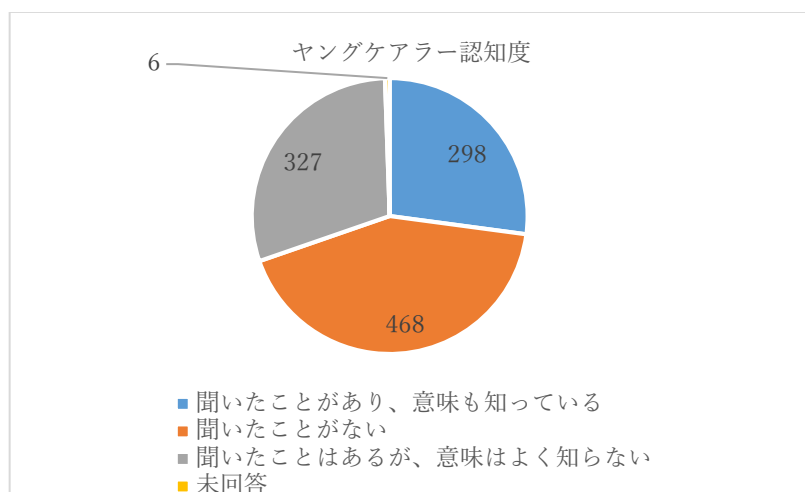
相談する相手がいると回答した生徒が 8 割いる一方で、明確に相談や話はしたくないを選択した生徒が 13.2%いた。

相談相手がいないと回答した生徒も 4.8%おり、相談先の紹介や、身近で相談できる相談相手を増やすことが必要と考える。

生徒が話をしやすい相手や、相談先についても今後検討が必要である。

問5 今までに「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。

合計	聞いたことがあり、意味も知っている	聞いたことがない	聞いたことはあるが、意味はよく知らない	未回答
1,099 人	298 人	468 人	327 人	6 人
100.0%	27.1%	42.6%	29.8%	0.5%



聞いたことがあり、意味も知っていると回答した生徒は、27.1%

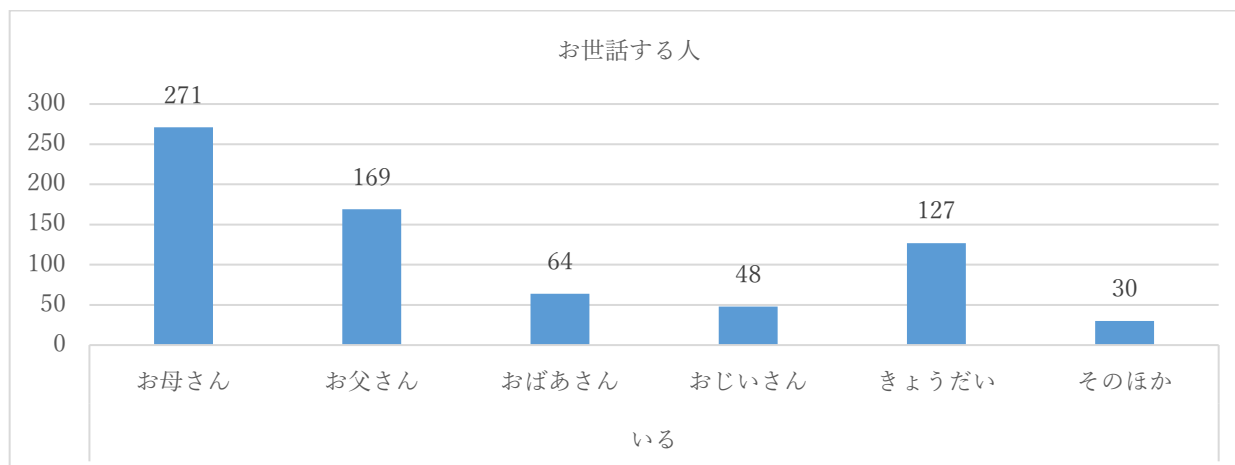
聞いたことがない・聞いたことはあるが、意味はよく知らないと回答した生徒を併せると、72.4%となる。

ヤングケアラーについての周知が十分でない現状であり、ヤングケアラー当事者が、自分がヤングケアラーであると気づくためにも、さらなる周知、啓蒙活動が必要である。

3 あなたの家庭や家族のお世話について

問6 家族の中に、あなたがしたいことよりも優先してお世話、生活補助をする人はいますか。(あてはまるもの全て選ぶ)

回答 実人数	いる						いない	未回答
	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	そのほか		
1,099 人	271 人	169 人	64 人	48 人	127 人	30 人	747 人	22 人
134.5%	24.7%	15.4%	5.8%	4.4%	11.6%	2.7%	68.0%	2.0%

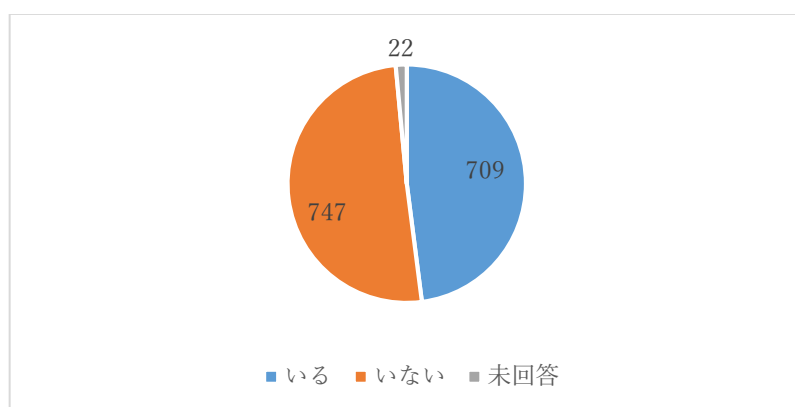


この数値からは実際のヤングケアラーの把握は難しいが、両親の世話をしていると回答した生徒が多かった。

ヤングケアラーの理解が進んでいないため、お手伝いもお世話として回答している生徒が一定数存在するのではないかと考えられる。

今後ヤングケアラーの周知をはかり、調査の精度を上げていくことが望ましい。

回答実人数	いる	いない	未回答
1,099 人	709 人	747 人	22 人
134.5%	64.5%	68.0%	2.0%



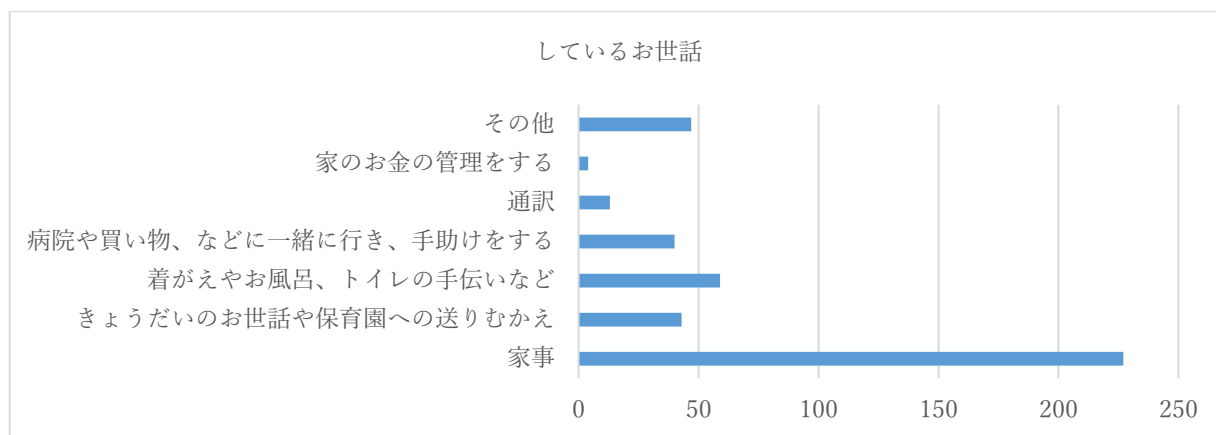
家族の中にお世話する人がいると回答した生徒の割合は、64.5%

いないと回答した生徒の割合は、68.0%であった。

令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」(こども家庭庁・実施は厚生労働省)では、中学2年生で家族の世話をしている生徒の割合は、5.7%となっている。ヤングケアラーの認知度と併せて考えると、ヤングケアラーの理解が進んでいないため、お手伝いもお世話として回答している生徒が一定数存在するのではないかと考えられる。

問7 あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるもの全て選ぶ)

回答 実人数	家事（食事の用意や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など）	きょうだいのお世話や保育園への送りむかえ	着がえやお風呂、トイレの手伝いなど	病院や買い物、さんぽなどにいっしょに行き、手助けをする	通訳（誰かが話した日本語を、家族にわかる言葉で話したり、手話で話すなど）	家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりする）	その他	お世話はしていない	未回答
1,099 人	227 人	43 人	59 人	40 人	13 人	4 人	47 人	649 人	139 人
111.1%	20.7%	3.9%	5.4%	3.6%	1.2%	0.4%	4.3%	59.1%	12.6%



その他回答内容

- ・ペットの世話をしている。 9 人
- ・歩く際の補助をしている。 2 人
- ・話を聞いてあげる。 2 人
- ・認知症だから行動を見ておかないと危ない。 1 人
- ・きょうだいのお世話をしている。 3 人
- ・家事をしている。 3 人

合計	一つでも世話をしていると 答えた子どもの実数	割合
1,099 人	282 人	25.7%

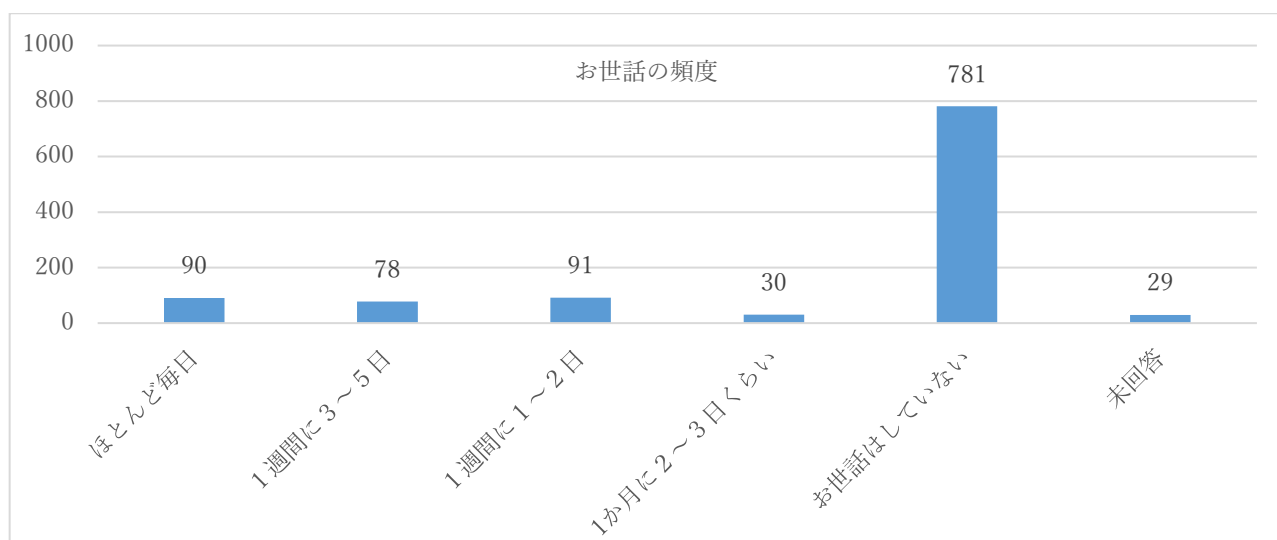
お世話はしていないと回答した生徒が、649 人 59.1%であった。

しているお世話で最も多かったものは、家事（食事の用意や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など）20.7%で、着がえやお風呂、トイレの手伝いなど 5.4%以下を大きく引き離していた。

また割合は低いですが、通訳（誰かが話した日本語を、家族にわかる言葉で話したり、手話で話すなど）1.2%、家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりする）0.4%とあり、ヤングケアラーの可能性が高いのではないかと推測される。

問8 あなたはどのくらいお世話をしていますか。

合計	ほとんど毎日	1 週間に 3～5 日	1 週間に 1～2 日	1 か月に 2～3 日くらい	お世話はしてい ない	未回答
1,099 人	90 人	78 人	91 人	30 人	781 人	29 人
100.0%	8.2%	7.1%	8.3%	2.7%	71.1%	2.6%



合計	お世話している	お世話はしていない	未回答
1099 人	288 人	781 人	30 人
100.0%	26.2%	71.1%	2.7%

お世話していないと回答した生徒は 71.1%であった。

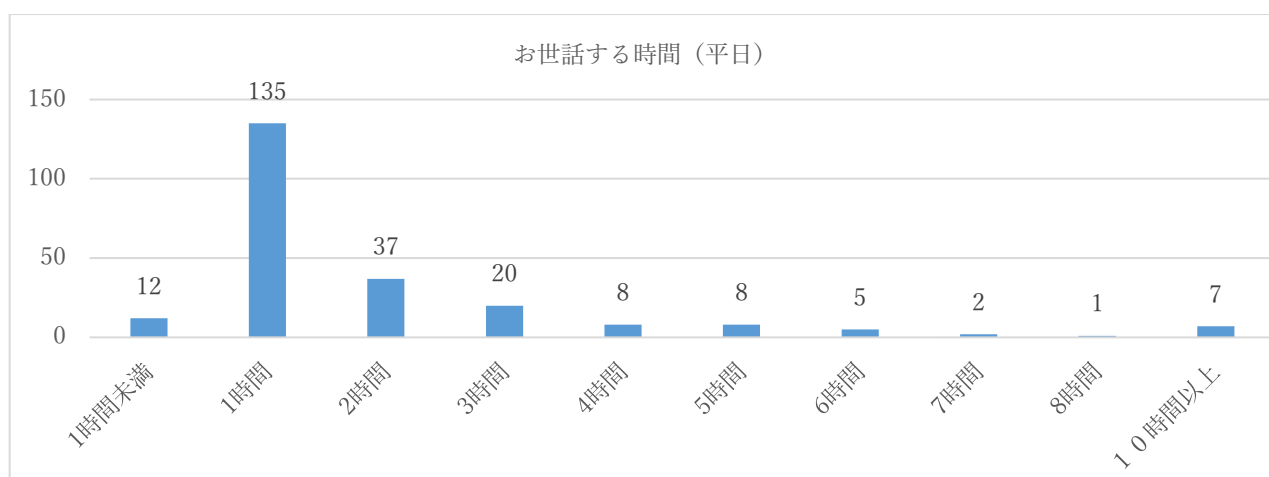
お世話をすることがあるものは 26.3%であった。

お世話か、お手伝いかの判断は難しいが、毎日お世話をしていると回答した生徒は 8.2%、1 週間に 3～5 日と回答した生徒は 7.1%、1 週間に 1～2 回と回答した生徒は 8.3%であった。

問9 あなたは、平日（学校のある日）と休日（学校がない日）に、それぞれ何時間くらいお世話をしていますか。

①平日（学校のある日）に、それぞれ何時間くらいお世話をしていますか。

合計	1 時間未満	1 時間	2 時間	3 時間	4 時間	5 時間	6 時間	7 時間	8 時間	10 時間以上
235 人	12 人	135 人	37 人	20 人	8 人	8 人	5 人	2 人	1 人	7 人
100.0%	5.1%	57.4%	15.7%	8.5%	3.4%	3.4%	2.1%	0.9%	0.4%	3.0%



10時間以上内訳

計	10時間	20時間
7人	4人	3人

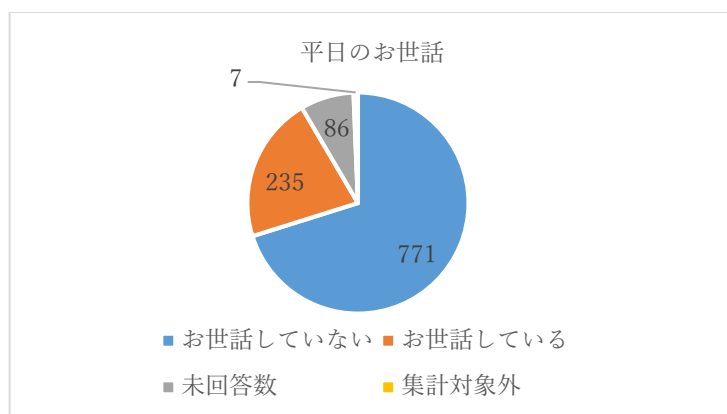
お世話している時間が2時間以上と回答した者の割合

全体	2時間以上	割合
1,099人	88人	8.0%

お世話している時間が3時間以上と回答した者の割合

全体	3時間以上	割合
1,099人	51人	4.6%

合計	お世話していない	お世話している	未回答数	集計対象外
1,099人	771人	235人	86人	7人
100.0%	70.2%	21.4%	7.8%	0.6%

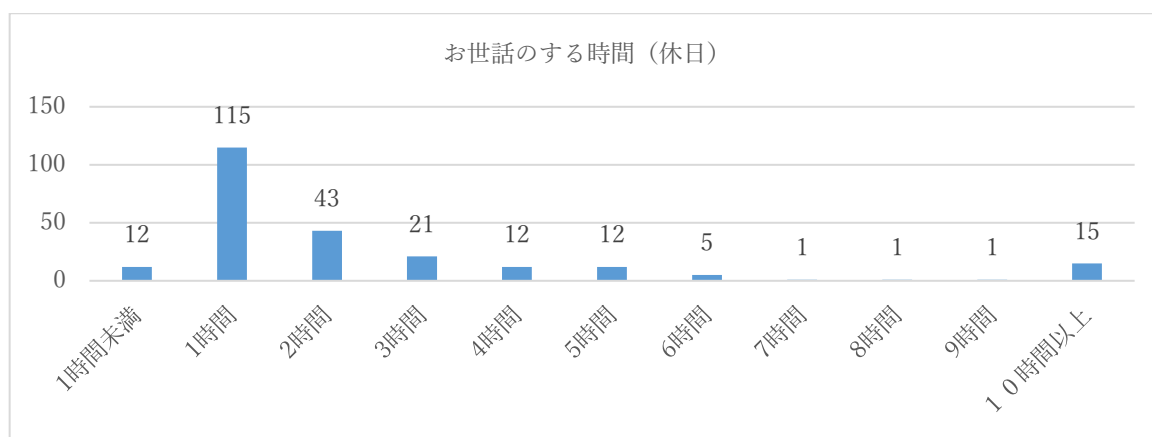


今回の調査では「何時間くらいお世話をしていますか」とし、回答欄を時間欄のみとしたこともあり、30時間と回答するなど、やや不正確な回答も見られた。このような回答について、集計対象外とした。正確な回答でない可能性もあるが、10時間と回答した生徒が4名、20時間と回答した生徒が3名であった。

今回の調査では、3時間以上お世話をしている者の割合は4.6%となった。

②休日（学校のない日）に、それぞれ何時間くらいお世話をしていますか。

合計	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間以上
235人	12人	115人	41人	21人	12人	11人	5人	1人	1人	1人	15人
100.0%	5.1%	48.9%	17.4%	8.9%	5.1%	4.7%	2.1%	0.4%	0.4%	0.4%	6.4%



10時間以上内訳

計	10時間	12時間	13時間	14時間	20時間
15人	6人	1人	2人	3人	3人

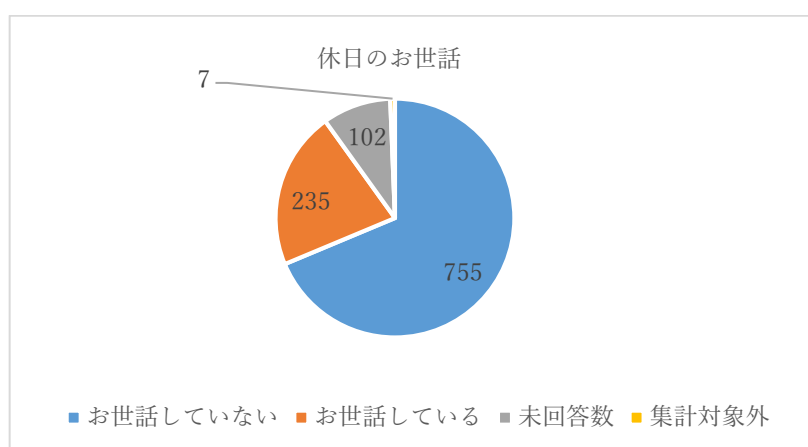
お世話している時間が2時間以上と回答した者の割合

全体	2時間以上	割合
1,099人	108人	9.8%

お世話している時間が3時間以上と回答した者の割合

全体	3時間以上	割合
1,099人	67人	6.1%

合計	お世話していない	お世話している	未回答数	集計対象外
1,099人	755人	235人	102人	7人
100.0%	68.7%	21.4%	9.3%	0.6%



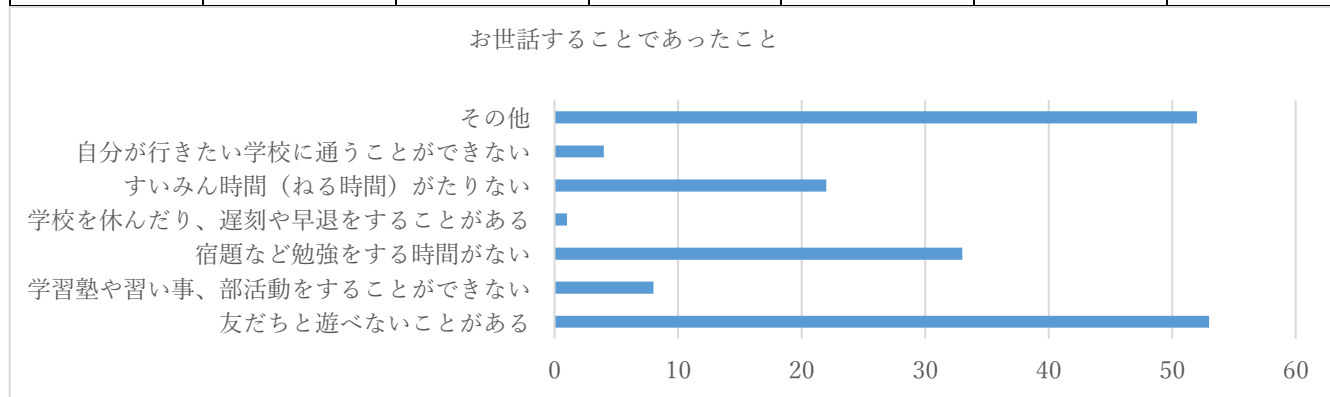
平日のお世話の時間の設問と同様に、回答欄を時間欄のみとしたこともあり、30時間と回答するなど、やや不正確な回答も見られた。このような回答について、集計対象外とした。

正確な回答でない可能性もあるが、10時間以上と回答した生徒が15名であった。

平日のお世話の時間と比較すると、休日の方がお世話の時間が伸びていた。

問 10 家族のお世話をしていることで、次のようなことがありましたか。(あてはまるもの全て選ぶ)

合計	友だちと遊べないことがある	学習塾や習い事に行ったり、部活動(クラブ活動)をすることができない	宿題など勉強をする時間がない	学校に行けなかったり、学校に遅刻や早退をしたりすることがある	すいみん時間(ねる時間)がたりない	自分が行きたい学校に通うことができない(自分が希望する進路に進めない)
121 人	53 人	8 人	33 人	1 人	22 人	4 人
100.0%	43.8%	6.6%	27.3%	0.8%	18.2%	3.3%



回答実人数	何らかがお世話していることであった生徒	その他	お世話はしていない	未回答
1,099 人	121 人	52 人	867 人	111 人
104.7%	11.0%	4.7%	78.9%	10.1%

その他回答内容

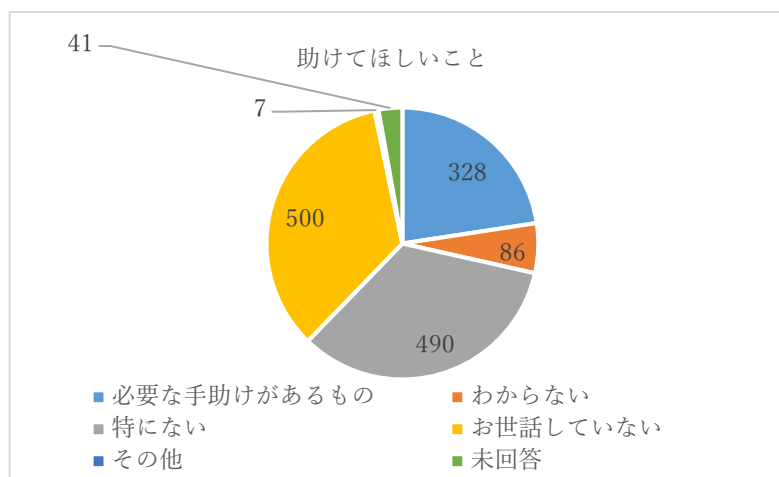
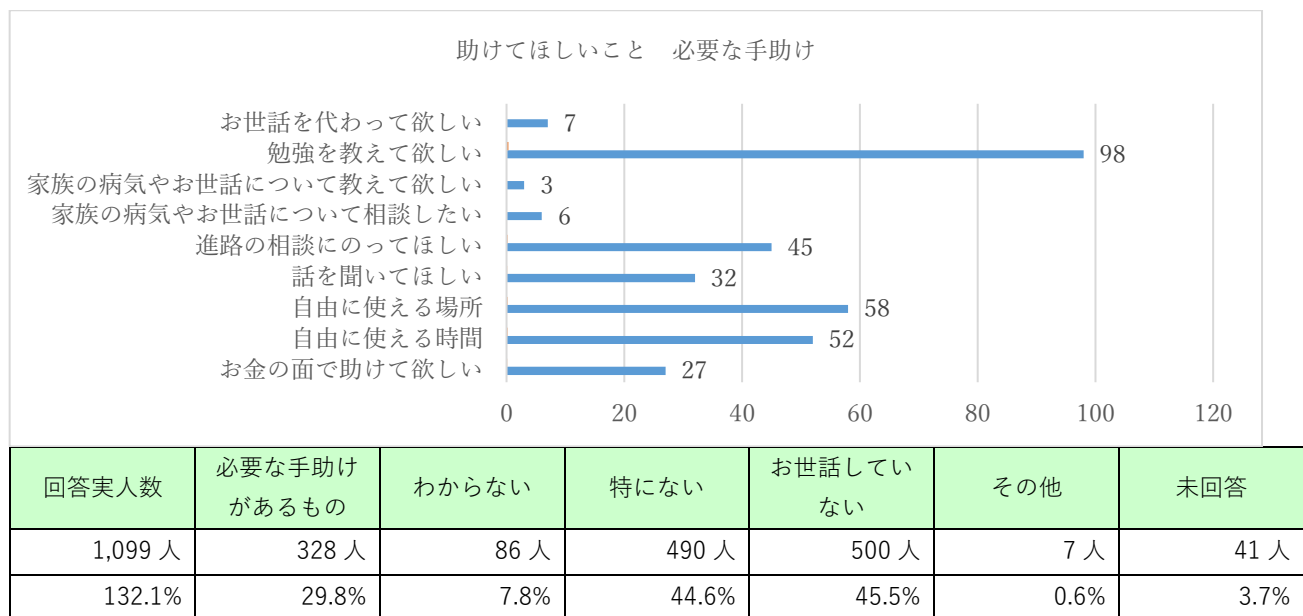
- ・お世話しているが困っていない。 12 人
- ・特になし 22 人
- ・未回答 18 人

複数回答ではあるが、何らかがお世話していることであったと回答した生徒は 121 人、割合は 11.0%であった。その他を選んだ生徒で詳細を記載した者は、お世話しているが困ったことがない 12 名、特になし 22 名で、未回答は 18 名であった。

お世話していることであったこととしては、友だちと遊べない 53 人、43.8%で最も多かった。ついで、宿題など勉強する時間がない 33 人、27.3%、すいみん時間がたりないが 22 人 18.2%であった。また、学校に行けなかったり、学校に遅刻や早退をしたりすることがある 1 名。自分が行きたい学校に通うことができない(自分が希望する進路に進めない) 4 名などの回答も見られた。

問 11 まわりの大人に助けてほしいことや、必要としている手助けはありますか。(あてはまるもの全て選ぶ)

合計	お金の面で助けて欲しい	自由に使える時間	自由に使える場所	話を聞いてほしい	進路の相談にのってほしい	家族の病気やお世話について相談したい	家族の病気やお世話について教えて欲しい	勉強を教えて欲しい	お世話を代わって欲しい
328 人	27 人	52 人	58 人	32 人	45 人	6 人	3 人	98 人	7 人
100.0%	8.2%	15.9%	17.7%	9.8%	13.7%	1.8%	0.9%	29.9%	2.1%



その他回答内容

- ・親に聞いてもらう事が多いけど、流石に言えない事(友情関係)があるから、何度もスクールカウンセラーに行こうかなって思う事があります
- ・進路代
- ・大人が常にいる場所で生活してないから不安な事が多い。だからできれば親と一緒に生活したい。

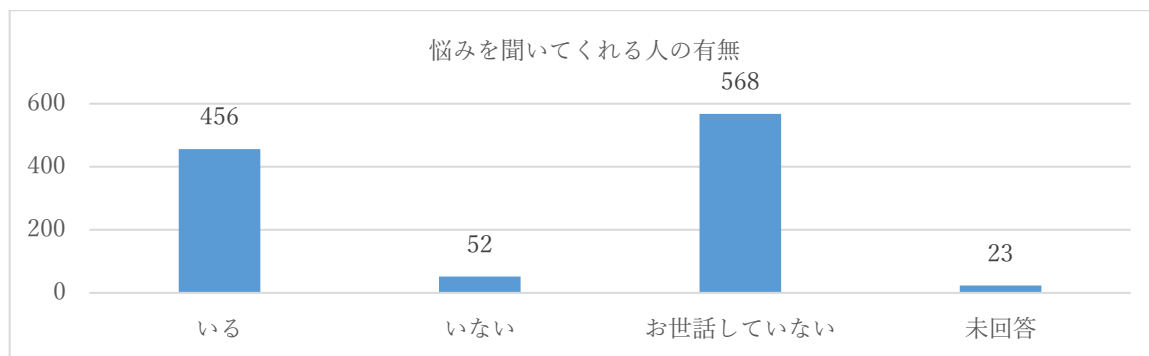
問 10 でお世話していないと回答した生徒は 867 人だったのに対し、問 11 ではお世話していないと回答した生徒は 500 人とかなりの減少がみられた。「まわりの大人に助けてほしいことや、必要としている手助けはありますか。」との設問であったので、お世話に関係なく助けてほしいことや必要としている手助けを回答している生徒がいる可能性があると考え。

しかし、生徒の日常生活での希望が把握できたとの見方もできる。

助けてほしいこと、必要としているお世話では、勉強を教えてほしいが 98 人で、約 30% を占めて最も多い回答であった。以下、自由に使える場所が欲しい、自由に使える時間が欲しい、進路の相談にのってほしい、お金の面で助けてほしいとなった。人数は少ないが、お世話を代わって欲しい、家族の病気やお世話について教えてほしい、家族の病気やお世話について相談したいという回答もあった。

問 12 あなたが話したいと思ったときに、家族のことやお世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

合計	いる	いない	お世話していない	未回答
1,099 人	456 人	52 人	568 人	23 人
100.0%	41.5%	4.7%	51.7%	2.1%

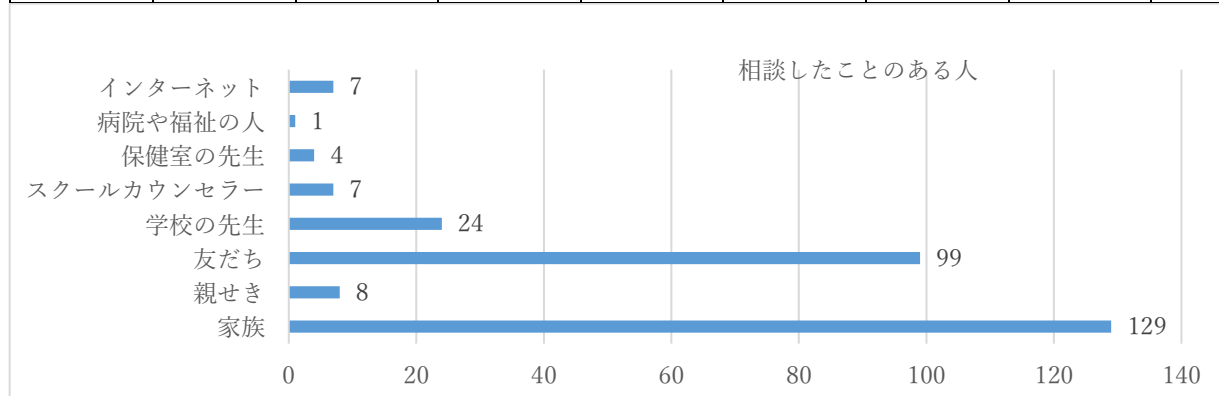


お世話をしていないと回答した生徒は 51.7%であった。
話を聞いてくれる人がいると回答した生徒は 41.5%であった。
話を聞いてくれる人がいないと回答した生徒は 4.7%であった。
相談先の周知や、相談できる場所等の確保が求められる。

問 13 お世話をしている家族のことや、お世話について、困ったことを誰かに相談したことはありますか。

相談したことがある人は複数回答可

合計	家族	親せき	友だち	学校の先生	スクールカウンセラー	保健室の先生	病院や福祉の人	インターネット
279 人	129 人	8 人	99 人	24 人	7 人	4 人	1 人	7 人
100.0%	46.2%	2.9%	35.5%	8.6%	2.5%	1.4%	0.4%	2.5%



回答実人数	相談したことがある	その他	ない・お世話はしていない	未回答
1,099 人	279 人	13 人	891 人	45 人
111.7%	25.4%	1.2%	81.1%	4.1%

その他回答内容

- ・相談にのってくれる先輩 1 人
- ・相談はない 2 人
- ・お世話はしているが、困ることがない 2 人
- ・児童相談所 1 人

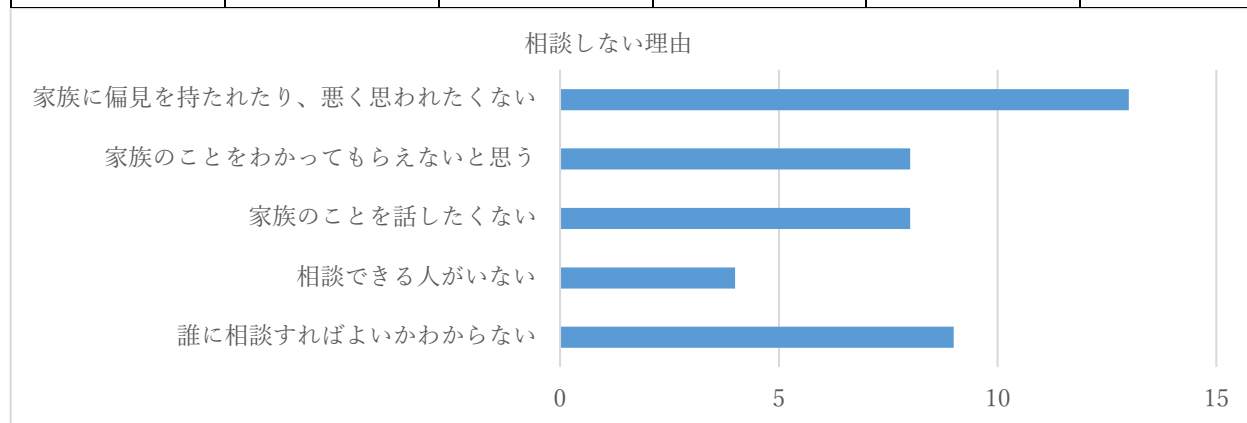
相談したことがある相手としては、家族が約半数となっている。実際に会っている人を選んでいる生徒がほとんどではあるが、7名がインターネットと回答している。身近な相談先を確保し周知することとともに、今後相談先の周知等も必要と考える。また、「学校の先生」「スクールカウンセラー」「保健室の先生」を選んだ生徒は35人で12.5%を占めており、学校は、家族や友だち以外の相談先として重要な役割を果たしていると考えられる。

お世話をしている家族のことや、お世話について、困ったことを誰かに相談したことはありますか。の問いに対し、「ない・お世話はしていない」「ある」場合は相談した人を選ぶという回答項目にしてしまったため、相談したことの無い生徒と、お世話をしていない生徒が同一回答項目となってしまう、精査ができないこととなった。次回の調査時に修正が必要と考える。

問 14 家族のお世話をされていて、お世話について困ったことなどを相談していない理由を教えてください。

(あてはまるものを全て選ぶ)

合計	誰に相談すれば よいかわからない	相談できる人が いない	家族のことを話 したくない	家族のことをわ かってもらえな いと思う	家族に対して偏見 を持たれたくない 家族のことを悪く 思われたくない
42 人	9 人	4 人	8 人	8 人	13 人
100.0%	21.4%	9.5%	19.0%	19.0%	31.0%



回答実人数	誰かに相談する ほど困っていない	困っていること があるが相談し ていない	その他	お世話はしてい ない	未回答
1,099 人	195 人	42 人	13 人	819 人	65 人
103.2%	17.7%	3.8%	1.2%	74.5%	5.9%

その他回答内容

- ・相談している 1 人
- ・困っていない 2 人
- ・相談する必要がある 3 人
- ・相談のし過ぎでめんどくさがられて友だちに嫌われたくない 1 人

困っていることがあり相談していない生徒は 42 人、3.8%であった。

相談しない理由は、家族に対して偏見を持たれたくない 家族のことを悪く思われたくないが 13 人 31.0%と最も多かった。また家族のことをわかってもらえないと思う、家族のことを話したくないとの回答も 8 人ずつあり、ヤングケアラーが外から見つけにくい要因が伺えた。

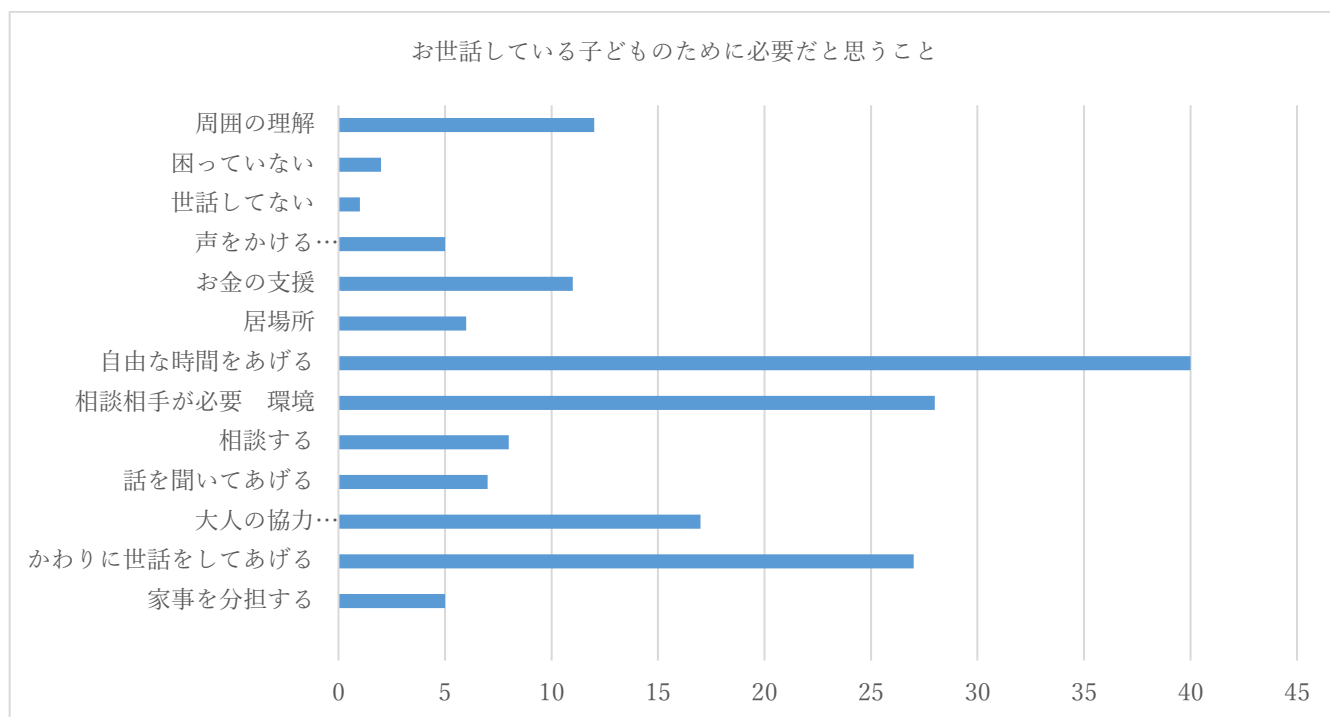
今後支援を行う際に、子どもの気持ちを傷つけないよう配慮するなど、支援を行う上での重要な注意点と考える。

一方で、だれに相談すればよいかわからないとの回答は 9 人あり、相談先の周知も必要と考える。

問 15 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや、まわりの大人にしてもらいたいこと、あなたがお世話で困っていることなど自由に書いてください。(のべ件数)

合計	記載あり実人数	記載なし実人数
1,099 人	192 人	907 人

家事を分担する	かわりに世話を してあげる	大人の協力 手助け	話を聞いてあげる	相談する	相談相手が必要 環境	自由な時間をあげる	居場所	お金の支援	気にかける 声をかける	世話してない	困っていない	周囲の理解	その他
5 人	27 人	17 人	7 人	8 人	28 人	40 人	6 人	11 人	5 人	1 人	2 人	12 人	62 人



その他回答内容

家族のお世話をしている子どものために必要だと思うこと

- ・介護が必要な人がいるなら介護施設に入れた方がいいと思う
- ・今回のようなアンケートを定期的にやることでいいづらい子も言い出しやすくなるんじゃないかと思った
- ・寄り添うこと
- ・お世話している子に無償で家庭教師を支給する
- ・このアンケートを通じて困っている人たちを少しでも多く確認・把握して、少しでも多くの子供達を助けることができたらいいのかなと考える
- ・曖昧な返事ではなく目に見えるものや確証できるものが、該当する人に接して行くにあたって必要だと思う
- ・家族にお世話をしたら、子どもを褒めてあげるなどちょっとしたご褒美をあげる
- ・ヤングケアラーは休みたいと思っても休めない。もう少しヤングケアラーへの対処も考えた方がいい
- ・家族が動けなかったりするのにそれを相談できないのはちょっと嫌だなと思った
- ・家族のお世話している子供の人に手伝ってあげるとはこのご時世、難しいので学校でカバーできるようにするべき
- ・いろんな立場で考えてみてほしい
- ・もし家事などで自由な時間が削られてしまっている人がいるならば、家族の人たちも子供の意見を尊重して言ってくれたらと思います
- ・相談などについては、完璧にわかるわけではないので、そこをもう少し理解しておきたいと思いました
- ・家族を預かってくれる場所が必要だと思う
- ・みんなで助け合うことが大事
- ・子供に全て頼らないように気をつけたほうがいい
- ・時間をしっかり守ってほしい
- ・相談だけでは、心は救われないから行動で救ってあげることが大切だと思いました
- ・子供が伸び伸び暮らせるようにしてほしい
- ・子供の夢を大人が潰すという事がある社会だから、自分も大人になった時に迷惑かけていきたくないし、そういう意識も社会に必要なと思う
- ・お世話をしなくてもいいように介護施設に入れたほうがいいと思う
- ・もっとお世話をしている子に自由な時間(ゲームや遊び)をあげてほしい
- ・わからない

あなたがお世話で困っていること

- ・友達と遊ぶ時間がたまにない
- ・高校2年生の兄がバイトも部活もやらないのに僕に家事を強制する
- ・今やることをやっていて、あとで絶対やるのに急かされていること
- ・勉強に追いつけないことがある。テスト前だけではなく、それ以外にも勉強会をしてほしいで。
- ・イライラした時のほきどころがない。何をすればいいかわからない
- ・中々お金をかけたり、使ったりすることができない
- ・県外や私立の学校には行けない
- ・昼寝ばっかしてて、家が汚いためもっと片付けをしてほしい
- ・自分以外にも面倒を見れる人がいるのに、めんどくさがってやらないから私がやらなきゃいけないときがあつて大変
- ・父親がほとんど自分の趣味にしかお金を使っておらず、教育費や食費、生活費などを今までほとんど出していなかったり、少しでも自分が気に食わないと思うとすぐに暴言を吐いてきたりする
- ・なるべく友達と同じような生活がしたい。子供だけで家にいて親のいる時間が少ないとかは嫌だ
- ・家事に関しては家族間でしっかり分担をするべきだと思う
- ・自分の家も父親や姉はほとんど家事をしないので、母親と自分だけで家事をしているような物なのだが4人分の洗濯物や食器洗いは毎日(土日祝だけでも)かなり負担があると思う
- ・特に学校の試験は会社の昇進試験等があると家事のしなさに拍車がかかるのでどうにかすべきだと思う
- ・家事をしてくれる人に感謝を忘れないこと大切だと思う

生徒から家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことについて、様々な意見が寄せられた。自由な時間を作ってあげてほしい、相談できる環境が必要である、代わりにお世話をしてあげることが必要といった意見が多かった。

また、お世話で困っていることの記載では、家庭状況が心配な記載もあった。

追加分析

問6 家族のお世話の有無と、問2-①学校を休んだりすること

学校を休むこと	調査 実人数	ほとんど休 まない	たまに休む	よく休む	未回答	計
お世話している	305 人	230 人	68 人	7 人	0 人	305 人
		75.4%	22.3%	2.3%	0.0%	100.0%
お世話していない	772 人	619 人	136 人	16 人	1 人	772 人
		80.2%	17.6%	2.1%	0.1%	100.0%

問6 家族のお世話の有無と、問2-②学校を遅刻や早退したりすること

遅刻や早退	調査 実人数	ほとんどし ない	たまに遅 刻・欠席す る	よく遅刻・ 欠席する	未回答	計
お世話している	305 人	238 人	59 人	8 人	0 人	305 人
		78.0%	19.3%	2.6%	0.0%	100.0%
お世話していない	772 人	642 人	109 人	20 人	1 人	772 人
		83.2%	14.1%	2.6%	0.1%	100.0%

問6 家族のお世話の有無と、問3 ふだんの生活で、あてはまること

ふだんの生活であては まるもの	調査 実人数	授業中寝 てしまう ことが多 い	宿題がで きていな いことが 多い	友だちと の時間が 少ない	しゅみや 好きなこ とをする 時間が少 ない	特にな い	未回答	計
お世話している	305 人	70 人	50 人	23 人	32 人	177 人	8 人	360 人
		19.4%	13.9%	6.4%	8.9%	49.2%	2.2%	100.0%
お世話していない	772 人	135 人	123 人	46 人	67 人	520 人	9 人	900 人
		15.0%	13.7%	5.1%	7.4%	57.8%	1.0%	100.0%

問 6 家族のお世話の有無と、問 12 悩みや困っていることについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれたりする人の有無

悩みを聞いてくれる人の有無	調査 実人数	いる	いない	お世話して いない	未回答	計
お世話している	305 人	207 人	21 人	72 人	5 人	305 人
		67.9%	6.9%	23.6%	1.6%	100.0%
お世話していない	772 人	243 人	29 人	487 人	13 人	772 人
		31.5%	3.8%	63.1%	1.7%	100.0%

問 6 家族のお世話の有無と、問 10 家族のお世話をしていること

お世話をしていること	調査 数	友だちと遊べない	塾や習い事や部活動をする ことができない	宿題など勉強する時間 がない	学校を休んだり、遅刻や 早退することがある	すいみん時間が足りない	行きたい学校に通うことが できない	その他	お世話はしていない	未 回 答	計
お世話している	305 人	37 人	5 人	23 人	0 人	16 人	2 人	30 人	159 人	58 人	330 人
		11.2%	1.5%	7.0%	0.0%	4.8%	0.6%	9.1%	48.2%	17.6%	100.0%
お世話していない	772 人	16 人	3 人	10 人	1 人	6 人	1 人	21 人	701 人	41 人	800 人
		2.0%	0.4%	1.3%	0.1%	0.8%	0.1%	2.6%	87.6%	5.1%	100.0%

「お世話をしている」者のその他の内容

特に困っていない	21 人
時間が長い	1 人
弟に殴られる、親と言合いになることが多い	1 人
しゅみをする時間や体力が残っていない	1 人
たまにイライラする	1 人
自分のやりたいことよりお世話を優先してしまう	1 人
記入なし	4 人

「お世話をしていない」者のその他の内容

困っていない	6 人
記入なし	15 人

問6 家族のお世話の有無と、問11 まわりの大人に助けてほしいことや、必要としている手助け

まわりの大人に助けてほしいこと	調査実人数	自分のことについて、話をきいてほしい	家族のお世話について相談ののって欲しい	家族の病気やお世話について教えて欲しい	お世話を誰かにかわって欲しい	自由に使える時間が欲しい	自由に過ごせる場所が欲しい	勉強を教えて欲しい	お金の面で助けてほしい	進路の相談ののって欲しい	その他	わからない	特にない	お世話はしていない	未回答	計
お世話している	305人	17人 4.0%	3人 0.7%	3人 0.7%	6人 1.4%	30人 7.0%	32人 7.5%	48人 11.2%	17人 4.0%	20人 4.7%	4人 0.9%	28人 6.6%	145人 34.0%	57人 13.3%	17人 4.0%	427人 100.0%
お世話していない	772人	15人 1.5%	2人 0.2%	0人 0.0%	1人 0.1%	23人 2.3%	26人 2.6%	51人 5.1%	14人 1.4%	30人 3.0%	5人 0.5%	58人 5.8%	338人 33.9%	418人 41.9%	17人 1.7%	998人 100.0%

「お世話をしている」者のその他の内容

大人が常にいる場所で生活していないので不安が多い	1人
もっとちゃんと片づけや家事をして欲しい	1人
記入なし	2人

「お世話をしていない」者のその他の内容

友だちとの関係について	1人
進路代	1人
記入なし	3人

問9-①平日にお世話をしている時間と、問2-①学校を休んだりすること

学校を休むこと	調査実人数	ほとんどしない	たまにする	よくする	未回答	計
3時間未満	970人	775人 79.9%	177人 18.2%	17人 1.8%	1人 0.1%	970人 100.0%
3時間以上7時間未満	33人	23人 69.7%	9人 27.3%	1人 3.0%	0人 0.0%	33人 100.0%
7時間以上	11人	6人 54.5%	4人 36.4%	1人 9.1%	0人 0.0%	11人 100.0%

問9-①平日にお世話をしている時間と、問2-②学校を遅刻や早退したりすること

遅刻や早退	調査 実人数	ほとんどし ない	たまにする	よくする	未回答	計
3 時間未満	970 人	811 人	137 人	21 人	1 人	970 人
		83.6%	14.1%	2.2%	0.1%	100.0%
3 時間以上 7 時間未満	33 人	18 人	12 人	3 人	0 人	33 人
		54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	100.0%
7 時間以上	11 人	7 人	3 人	1 人	0 人	11 人
		63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	100.0%

問9-①平日にお世話をしている時間と、問3 ふだんの生活で、あてはまること

ふだんの生活 であてはまる もの	調査 実人数	授業中寝て しまうこと が多い	宿題ができ ていないこ とが多い	友だちとの 時間が少な い	しゅみや好 きなことを する時間が 少ない	特にない	未回答	計
3 時間未満	970 人	171 人	144 人	61 人	89 人	645 人	14 人	1124 人
		15.2%	12.8%	5.4%	7.9%	57.4%	1.2%	100.0%
3 時間以上 7 時間未満	33 人	12 人	8 人	3 人	4 人	18 人	0 人	45 人
		26.7%	17.8%	6.7%	8.9%	40.0%	0.0%	100.0%
7 時間以上	11 人	1 人	2 人	1 人	2 人	7 人	0 人	13 人
		7.7%	15.4%	7.7%	15.4%	53.8%	0.0%	100.0%

問9-①平日にお世話をしている時間と、問10 お世話をしていること

お世話を しているあ ったこと	調査 実人数	友だ ちと 遊べ ない	塾や習い事 や部活動が できない	宿題など 勉強時間 がない	すいみん 時間が足 りない	行きたい学校 に通え ない	欠席や遅 刻、早退 した	その 他	お世 話は して いな い	未回 答	計
3 時間未 満	970 人	36 人	7 人	24 人	16 人	2 人	1 人	43 人	806 人	76 人	1,011 人
		3.6%	0.7%	2.4%	1.6%	0.2%	0.1%	4.3%	79.7%	7.5%	100.0%
3 時間 以上 7 時間未 満	33 人	12 人	1 人	7 人	4 人	1 人	0 人	5 人	2 人	7 人	39 人
		30.8%	2.6%	17.9%	10.3%	2.6%	0.0%	12.8%	5.1%	17.9%	100.0%
7 時間 以上	11 人	3 人	0 人	1 人	2 人	0 人	0 人	2 人	2 人	4 人	14 人
		21.4%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	100.0%

お世話している時間が「3 時間未満」の者のその他の内容

お世話はしているがあてはまるものがない	23 人
弟に殴られる、親と言ひ合いになることが多い	1 人
しゅみをする時間や体力が残っていない	1 人
記入なし	18 人

お世話している時間が「3時間以上7時間未満」の者のその他の内容

困っていない	2人
たまにイライラする	1人
自分のやりたいことよりお世話を優先してしまう	1人
記入なし	1人

お世話している時間が「7時間以上」の者のその他の内容

記入なし	2人
------	----

問9-①平日にお世話をしている時間と、問11まわりの大人に助けてほしいことや、必要としている手助け

まわりの大人に助けてほしいこと	調査実人数	自分のことについて、話をきいてほしい	家族のお世話について相談にのって欲しい	家族の病気やお世話について教えて欲しい	お世話を誰かにかわって欲しい	自由に使える時間が欲しい	自由に過ごせる場所が欲しい	勉強を教えて欲しい	お金の面で助けてほしい	進路の相談にのって欲しい	その他	わからない	特になし	お世話はしていない	未回答	計
3時間未満	970人	27人	3人	2人	5人	42人	50人	84人	26人	44人	6人	76人	440人	476人	23人	1,304人
		2.1%	0.2%	0.2%	0.4%	3.2%	3.8%	6.4%	2.0%	3.4%	0.5%	5.8%	33.7%	36.5%	1.8%	100.0%
3時間以上7時間未満	33人	3人	2人	1人	1人	6人	6人	10人	2人	4人	2人	3人	13人	1人	1人	55人
		5.5%	3.6%	1.8%	1.8%	10.9%	10.9%	18.2%	3.6%	7.3%	3.6%	5.5%	23.6%	1.8%	1.8%	100.0%
7時間以上	11人	2人	1人	0人	1人	2人	1人	2人	1人	2人	0人	1人	5人	1人	0人	19人
		10.5%	5.3%	0.0%	5.3%	10.5%	5.3%	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%	5.3%	26.3%	5.3%	0.0%	100.0%

お世話する時間が「3時間未満」の者のその他の内容

大人が常にいる場所で生活していないので不安が多い	1人
もっとちゃんと片づけや家事をして欲しい	1人
友だちとの関係について	1人
記入なし	3人

お世話する時間が「3時間以上7時間未満」の者のその他の内容

進路代	1人
記入なし	1人

問9-①平日にお世話をしている時間と、問12家族のことやお世話の悩みを聞いてくれる人の有無

家族のことやお世話の 悩みを聞いてくれる人の 有無	調査 実人数	いる	いない	お世話して いない	未回答	計
3 時間未満	970 人	399 人	38 人	524 人	9 人	970 人
		41.1%	3.9%	54.0%	0.9%	100.0%
3 時間以上 7 時間未満	33 人	25 人	7 人	1 人	0 人	33 人
		75.8%	21.2%	3.0%	0.0%	100.0%
7 時間以上	11 人	8 人	3 人	0 人	0 人	11 人
		72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	100.0%

問9-②休日にお世話をしている時間と、問2-①学校を休んだりすること

学校を休むこと	調査 実人数	ほとんどし ない	たまにする	よくする	未回答	計
3 時間未満	925 人	738 人	168 人	18 人	1 人	925 人
		79.8%	18.2%	1.9%	0.1%	100.0%
3 時間以上 7 時間未満	50 人	36 人	13 人	1 人	0 人	50 人
		72.0%	26.0%	2.0%	0.0%	100.0%
7 時間以上	18 人	11 人	7 人	0 人	0 人	18 人
		61.1%	38.9%	0.0%	0.0%	100.0%

問9-②休日にお世話をしている時間と、問2-②学校を遅刻や早退したりすること

遅刻や早退	調査 実人数	ほとんどし ない	たまにする	よくする	未回答	計
3 時間未満	925 人	773 人	128 人	23 人	1 人	925 人
		83.6%	13.8%	2.5%	0.1%	100.0%
3 時間以上 7 時間未満	50 人	35 人	13 人	2 人	0 人	50 人
		70.0%	26.0%	4.0%	0.0%	100.0%
7 時間以上	18 人	10 人	8 人	0 人	0 人	18 人
		55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%

問9-②休日にお世話をしている時間と、問3ふだんの生活で、あてはまること

ふだんの生活であてはま るもの	調査 実人数	授業中寝 てしまう ことが多 い	宿題がで きていな いことが 多い	友だちと の時間が 少ない	しゅみや 好きなこ とをする 時間が少 ない	特にな い	未回答	計
3 時間未満	925 人	159 人	137 人	55 人	85 人	619 人	13 人	1068 人
		14.9%	12.8%	5.1%	8.0%	58.0%	1.2%	100.0%
3 時間以上 7 時間未満	50 人	13 人	5 人	7 人	7 人	27 人	1 人	60 人
		21.7%	8.3%	11.7%	11.7%	45.0%	1.7%	100.0%
7 時間以上	18 人	7 人	6 人	2 人	4 人	9 人	0 人	28 人
		25.0%	21.4%	7.1%	14.3%	32.1%	0.0%	100.0%

問9-②休日にお世話をしている時間と、問10 お世話をしていること

お世話をしていること	調査実人数	友だちと遊べない	塾や習い事や部活動ができない	宿題など勉強時間がない	すいみん時間が足りない	行きたい学校に通えない	欠席や遅刻、早退した	その他	お世話はしていない	未回答	計
3 時間未満	925 人	24 人 2.5%	6 人 0.6%	19 人 2.0%	10 人 1.0%	2 人 0.2%	1 人 0.1%	41 人 4.3%	785 人 81.9%	71 人 7.4%	959 人 100.0%
3 時間以上 7 時間未満	50 人	19 人 33.9%	1 人 1.8%	8 人 14.3%	10 人 17.9%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	5 人 8.9%	3 人 5.4%	10 人 17.9%	56 人 100.0%
7 時間以上	18 人	8 人 27.6%	1 人 3.4%	5 人 17.2%	2 人 6.9%	1 人 3.4%	0 人 0.0%	3 人 10.3%	4 人 13.8%	5 人 17.2%	29 人 100.0%

お世話している時間が「3 時間未満」の者のその他の内容

お世話はしているもあてはまるものがない	20 人
弟に殴られる、親と言ひ合いになることが多い	1 人
しゅみをする時間や体力が残っていない	1 人
記入なし	19 人

お世話している時間が「3 時間以上 7 時間未満」の者のその他の内容

困っていない	4 人
自分のやりたいことよりお世話を優先してしまう	1 人

お世話している時間が「7 時間以上」の者のその他の内容

困っていない	1 人
たまにイライラする	1 人
記入なし	1 人

問9-②休日にお世話をしている時間と、問11まわりの大人に助けてほしいことや、必要としている手助け

まわりの大人に助けてほしいこと	調査 実人数	自分のことについて、話をきいてほしい	家族のお世話について相談にのって欲しい	家族の病気やお世話について教えて欲しい	お世話を誰かにかわって欲しい	自由に使える時間が欲しい	自由に過ごせる場所が欲しい	勉強を教えて欲しい	お金の面で助けてほしい	進路の相談にのって欲しい	その他	わからない	特になし	お世話はしていない	未回答	計
3 時間未満	925 人	24 人	2 人	2 人	3 人	38 人	46 人	72 人	22 人	38 人	6 人	68 人	426 人	465 人	22 人	1,234 人
		1.9 %	0.2 %	0.2 %	0.2 %	3.1% %	3.7 %	5.8% %	1.8 %	3.1 %	0.5 %	5.5 %	34.5 %	37.7 %	1.8 %	100.0 %
3 時間以上 7 時間未満	50 人	5 人	2 人	0 人	2 人	5 人	6 人	14 人	4 人	5 人	1 人	7 人	20 人	1 人	3 人	75 人
		6.7 %	2.7 %	0.0 %	2.7 %	6.7% %	8.0 %	18.7 %	5.3 %	6.7 %	1.3 %	9.3 %	26.7 %	1.3% %	4.0 %	100.0 %
7 時間以上	18 人	1 人	1 人	1 人	2 人	5 人	3 人	6 人	2 人	3 人	1 人	1 人	8 人	0 人	1 人	35 人
		2.9 %	2.9 %	2.9 %	5.7 %	14.3 %	8.6 %	17.1 %	5.7 %	8.6 %	2.9 %	2.9 %	22.9 %	0.0% %	2.9 %	100.0 %

お世話する時間が「3 時間以上 7 時間未満」の者のその他の内容

進路代

1 人

お世話する時間が「3 時間以上 7 時間未満」の者のその他の内容

記入なし

1 人

問9-②休日にお世話をしている時間と、問12家族のことやお世話の悩みを聞いてくれる人の有無

家族のことやお世話の 悩みを聞いてくれる人の有無	調査 実人数	いる	いない	お世話して いない	未回答	計
3 時間未満	925 人	369 人	36 人	512 人	8 人	925 人
		39.9%	3.9%	55.4%	0.9%	100.0%
3 時間以上 7 時間未満	50 人	40 人	9 人	1 人	0 人	50 人
		80.0%	18.0%	2.0%	0.0%	100.0%
7 時間以上	18 人	16 人	2 人	0 人	0 人	18 人
		88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%

問6 お世話をしている人と、問8 お世話している頻度

お世話している頻度		調査数	毎日	週 3－5日	週 1－2日	月 2－4日	お世話はし ていない	未回 答	計
お世話 している人	父母	440 人	86 人	66 人	77 人	18 人	187 人	6 人	440 人
			19.5%	15.0%	17.5%	4.1%	42.5%	1.4%	100.0%
	祖父母	112 人	21 人	28 人	26 人	9 人	28 人	0 人	112 人
			18.8%	25.0%	23.2%	8.0%	25.0%	0.0%	100.0%
	きょうだい	126 人	34 人	23 人	19 人	7 人	41 人	2 人	126 人
			27.0%	18.3%	15.1%	5.6%	32.5%	1.6%	100.0%
	その他	28 人	9 人	5 人	5 人	0 人	9 人	0 人	28 人
			32.1%	17.9%	17.9%	0.0%	32.1%	0.0%	100.0%

問6 お世話をしている人と、問9-①平日にお世話をしている時間

平日お世話している時間		調査数	3時間 未満	3－7時間 未満	7時間 以上	未回答	計
お世話 している人	父母	440 人	370 人	32 人	9 人	29 人	440 人
			84.1%	7.3%	2.0%	6.6%	100.0%
	祖父母	112 人	93 人	10 人	4 人	5 人	112 人
			83.0%	8.9%	3.6%	4.5%	100.0%
	きょうだい	126 人	99 人	17 人	3 人	7 人	126 人
			78.6%	13.5%	2.4%	5.6%	100.0%
	その他	28 人	20 人	6 人	1 人	1 人	28 人
			71.4%	21.4%	3.6%	3.6%	100.0%

問6 お世話をしている人と、問9-②休日にお世話をしている時間

休日お世話している時間		調査数	3時間 未満	3－7時 間未満	7時間 以上	未回答	計
お世話 している人	父母	440 人	328 人	52 人	16 人	44 人	440 人
			74.5%	11.8%	3.6%	10.0%	100.0%
	祖父母	112 人	80 人	17 人	9 人	6 人	112 人
			71.4%	15.2%	8.0%	5.4%	100.0%
	きょうだい	126 人	86 人	21 人	9 人	10 人	126 人
			68.3%	16.7%	7.1%	7.9%	100.0%
	その他	28 人	18 人	4 人	4 人	2 人	28 人
			64.3%	14.3%	14.3%	7.1%	100.0%

8. 考察

回答率について（小学生 P3 問 1 中学生 P9 問 1）

町内の全小中学校に実態調査実施についてご協力をいただいたため、小学校では 92.6% 中学校では 86.1% という高い回答を得ることができた。

ヤングケアラーの認知度について（小学生 P4 問 3 中学生 P11 問 5）

その中でヤングケアラーの認知度については、聞いたこともあり意味も知っていると回答した小学生は 187 人（15.7%）、中学生は、298 人（27.1%）であった。学年が上がるとヤングケアラーの認知度も上がっていると考えられた。しかしながら、中学生でも 7 割の生徒は、聞いたことがない、意味が分からないと回答しており、まだまだ周知が足りておらず、今後取り組むべき課題と考える。

お世話をしている人がいる児童生徒（小学生 P5 問 4 中学生 P12 問 6）

家族の世話をしているのは、小学生 42.0% 中学生 64.5% であった。令和 2 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」（こども家庭庁・実施は厚生労働省）によると、中学生 2 年生で家族の世話をしているのは、5.7% であり、今回の調査結果の数値と大きな開きがある。ヤングケアラーの定義等の周知が十分でなく、お手伝いをしている児童生徒が含まれていると推察された。

お世話する時間とヤングケアラー（中学生 P14 から P16 問 9①②）

中学生がお世話している時間で、平日 2 時間以上と回答した生徒は 88 人（8.0%）、休日では 108 人（9.8%）であった。この数値からも、ヤングケアラーかもしれない生徒は 10% 弱存在するのではないかと推察された。

まわりの大人に助けてほしいことや必要な手助け（中学生 P17 から P18 問 11）

中学生がまわりの大人に助けてほしいことや必要としている手助けについての設問では、複数回答であるが、328 件（29.8%）が助けてほしいことや必要としている手助けがあると回答した。その内訳は、お世話の時間の長短に関わらず、勉強を教えてほしい、自由に使える場所が欲しい、自由に使える時間が欲しい、進路の相談にのってほしい、お金の面で助けてほしいが上位 5 位を占めた。

相談できる人（小学生 P6 から P7 問 6・問 7 中学生 P19 問 12・問 13）

相談できる人、悩みを聞いてくれる人の存在については、小学生では、290 人（24.3%）、中学生では 456 人（41.5%）が「いる」と回答している。相談相手としては、家族、友だち、学校の先生と、生徒にとって身近な存在に相談をしていることが伺われる。児童、生徒のヤングケアラーについての認知度をあげ、相談先なども調査などを実施しながら普及していくことで、自身が気づくだけでなく、友だちから相談先などを教えてもらえる機会を増やすことも、ヤングケアラー支援につながりやすくすると考える。

自由記載から（中学生 P21 から P22 問 15）

自由記載では、生徒の真摯な声を得ることができた。

今回のようなアンケートを定期的にやることでいづらい子も言い出しやすくなるのではないかと思った。

このアンケートを通じて困っている人たちを少しでも多く確認・把握して少しでも多くの子供達を助けることができたらいのかなと考える。

などの意見もあり、継続して調査をし、ヤングケアラーと思われる児童・生徒を支援に繋げることができるようしていく必要性を再認識することができた。

追加分析より

家族の世話をしていることで学校生活等に影響がみられる（小学生 P8 中学生 P23 から P25）

小学生及び中学生追加分析から、家族の世話をしている場合、ほとんど休まない・ほとんど遅刻早退をしない割合が、お世話していない群に比べ、割合が低くなり、欠席や遅刻、早退をする割合が、家族のお世話をしていない場合に比べ高くなっていた。

中学生でお世話をしている場合、ふだんの生活やお世話する中であったこととして、「授業中に寝てしまうことが多い」「友達との時間が少ない」「しゅみや好きなことをする時間が少ない」「宿題など勉強する時間が少ない」「すいみん時間が足りない」などの項目に、お世話していない場合よりも回答割合が高くなっていた。

まわりの大人に助けてほしいことや必要としている手助けとして、小学生では、助けてほしいことがある児童は 31.0%と、お世話していない群の 1.3%を大きく上回っていた。中学生では、お世話をしている場合では、「自分の話をきいてほしい」「自由に使える時間が欲しい」「自由に過ごせる場所が欲しい」「勉強を教えてほしい」「お金の面で助けてほしい」などが上位となっていた。

お世話の時間が長くなると、ふだんの生活に影響を及ぼす（中学生 P25 から P26、P28 から P29）

中学生のお世話をしている時間による欠席や遅刻・早退の関係では、平日お世話の時間が増える「欠席」する生徒の割合が増えていた。平日・休日に関わらず「たまに休む」「たまに遅刻・早退する」の割合がお世話している群が高くなっていた。

中学生のお世話の時間が長くなると、「しゅみや好きなことをする時間」が少なくなる傾向が、平日休日ともに認められた。また、「塾や習い事、部活動ができない」「宿題など勉強時間がない」などの項目が、お世話の時間が長くなると、あると回答する生徒の割合が増えていた。

お世話する時間とともに増える周りの大人に助けてほしいことや必要な手助け(中学生 P25 から P26、P30)

平日のお世話の時間が長くなることに比例して増えていた項目は以下となった。

「自分のことについて話をきいてほしい」「家族のお世話の相談にのって欲しい」「お世話を誰にかかわって欲しい」「お金の面で助けてほしい」「進路の相談にのって欲しい」

休日のお世話の時間が長くなることに比例して増えていた項目は以下となった。

「家族のお世話の相談にのって欲しい」「お世話を誰にかかわって欲しい」「自由に使える時間が欲しい」「自由に過ごせる場所が欲しい」「お金の面で助けてほしい」「進路の相談にのって欲しい」

お世話をしている生徒の相談状況（中学生 P24、P28、P30）

お世話をしている場合や、お世話をしている時間によっても、相談する相手がいると答えた生徒は約 70～80%いることが分かった。しかしながら、相談する相手がいないと回答した生徒へ相談窓口を周知させていく必要性も感じる結果となった。

今後のヤングケアラー支援

今後、ヤングケアラー支援を検討するに当たり、ヤングケアラーとして支援する必要がある中学生の規模を把握するため、実態調査の結果から、週に 1～2 日以上のお世話をしており、一日当たり 2 時間以上のお世話をしている中学生を抽出し、他の質問において「困っていることはない」「相談する必要はない」といった回答をしている中学生を除外した結果、24 人が該当した。

また、どのような支援が必要かを検討するため、どのようなケアを行っているか、どのような支援を望んでいるかという点を確認したところ次のとおりだった。

○中学生がケアとして行っていること

家事 実人数 15 人（62.5%）のべ 18 人

内訳

親が一人しかいないので自分が家のことをしている	1 人
洗いもの	1 人
家事（食事の用意や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など）	14 人
ご飯を作る	1 人
洗い物洗濯を畳んでいる	1 人

家族などの世話 実人数 12 人（50.0%）のべ 24 人

内訳

病院や買い物、さんぽなどにいっしょに行き、手助けをする	3 人
兄弟のお世話や保育園への送り迎え	9 人
着がえやお風呂、トイレの手伝いなど	7 人
弟と生活している親とは別の家で弟の宿題を見たりしている	1 人
通訳（誰かが話した日本語を、家族にわかる言葉で話したり、手話で話すなど）	3 人
昨日から休んでる弟の看病をしている	1 人

ペットなどの世話

内訳 実人数 3 人（12.5%）のべ 3 人

犬のお世話	1 人
ペットのお世話をしてる、散歩と餌をあげてる	1 人
動物などのお世話等	1 人

○行っているケアごとの人数	実人数 24 人
家事のみ	7 人 (29.2%)
家族などの世話のみ	6 人 (25.0%)
家事と家族などの世話	5 人 (20.8%)
家事、家族のなどの世話、ペットなどの世話	1 人 (4.2%)
家事とペットなどの世話	2 人 (8.3%)
未回答	3 人 (12.5%)

この結果から、支援としては、家事支援、中学生がケアしている家族を適切な支援につなぐための支援などが有効ではないかと考えられる。また、それぞれについて、適切な支援を行うためには、詳しく状況を確認する必要があるため、専門の職種（ヤングケアラーコーディネーター）の配置も必要ではないかと考えられる。

○中学生がまわりの大人に助けてほしいこと、手助けしてほしいこと

自由に過ごせる場所がほしい	6 人
自由に使える時間がほしい	5 人
自分がしているお世話を誰かにかわってほしい	3 人
自分のことについて、話をきいてほしい	2 人
家族のお世話について、相談にのってほしい	3 人
進路（行きたい学校ややりたい仕事について）相談にのってほしい	3 人
家族の病気や、お世話のことなどについて、わかりやすく教えてほしい	1 人
勉強を教えてほしい	7 人
お金の面で助けてほしい	2 人

このことから、自由に過ごせる居場所づくり、子どもが行っていることを代わって行う家事支援やケアが必要な人を適切な支援につなぐ支援、子どもの相談を受ける支援、学習支援などが有効ではないかと考えられる。